



市政報告会

1. 開 会
2. 市 政 報 告
3. 地 区 の テ ー マ
4. 意 見 交 換 会
5. 閉 会

東日本大震災

発生日時 : 2011年3月11日(金)午後2時46分頃

発生場所 : 三陸沖(北緯38度、東経142.9度)、

震源深さ24km、マグニチュード9.0

各地震度: 震度7 宮城県栗原市

震度6強 福島県楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町



復興支援

支援物資の提供

・3月23日、24日
・4月6日 10トン3台
気仙沼市を中心とした被災地へ

義援金の受付

・9月30日まで
・市役所など5箇所
5月10日現在
1,360万円

職員派遣

消防職員 4名
保健師 4名

避難者支援

・移動支援
・住宅支援
（市営・民間住宅）
・生活支援
・教育支援
（就園・就学支援）
・就労相談



Ⅱ 津波災害への備え

津波対策

※屋外の主要避難適応場所（津波対策用）

地区	主要避難適応場所	高さ	地図番号	地区	主要避難適応場所	高さ	地図番号
本郷	鎮政公園	17m	A	野平	深田神社付近	20m	B
	藤田公園（市野津海岸付近）	24m	B		平江園	20m	C
照島	別府（段の山）	20m	C	荒川	荒川小学校	31m	D
	木原墓地公園	35m	D		荒川小学校	31m	E
上名	車木野小学校	24m	E	羽島	ふれあい広場	30m	F
	車木野神社付近	25m	F		ふれあいパーク羽島	40m	G
湊町	湊中央公園付近	8m	G	川南	橋入寺付近	26m	H
	小原墓地付近	19m	H		戸部地区多目的広場	25m	I
				川北	川北スポーツ公園	35m	J

海拔20メートル以下の地域分布図

0~10m未満
10~20m

避難所

屋外の主要避難適応場所

6月補正
災害危険
予想箇所調査

避難所

○印は第1次避難場所
他の場所は必要に応じて開設

【冠岳、生福、上名、旭地区】

避難場所	収容人員	海拔	地図番号
冠岳交差センター	100人	150m	A
冠岳小学校体育館	124人	170m	B
生福小学校体育館	200人	40m	C
生福中学校体育館	292人	40m	D
車木野中学校体育館	400人	26m	E
勤労青少年ホーム	120人	9m	F
車木野小学校体育館	400人	24m	G
旭交差センター	100人	80m	H
旭小学校体育館	200人	80m	I
岸ヶ野公民館	40人	40m	J

【野平、荒川、羽島地区】

避難場所	収容人員	海拔	地図番号
車木野西中学校体育館	400人	11m	A
荒川交差センター	92人	31m	B
荒川小学校体育館	100人	31m	C
羽島交差センター	167人	17m	D
羽島小学校体育館	400人	15m	E
土川交差センター	88人	1m	F

【中央、大原、本浦、照島地区】

避難場所	収容人員	海拔	地図番号
市民文化センター	686人	15m	A
願船寺	80人	11m	B
ドリームセンター	150人	7m	C
浄光寺	50人	15m	D
車木野体育センター	451人	8m	E
車木野運動者センター	334人	15m	F
働く女性の家	284人	15m	G
車木野高等学校体育館	400人	10m	H
無量寺	50人	8m	I
照島小学校体育館	100人	7m	J

いちき串木野市役所周辺



【川北、川南地区】

避難場所	収容人員	海拔	地図番号
川北交流センター	100人	3m	A
川南交流センター	80人	9m	B
市来体育館	50人	3m	C
市来中学校校体育館	500人	3m	D
市来小学校体育館	300人	5m	E

【湊、湊町地区】

避難場所	収容人員	海拔	地図番号
いちきアクアホール	100人	3m	A
市来船運福祉センター	80人	3m	B
漁民会館	80人	4m	C
浄光寺	80人	4m	D
新村寺	90人	4m	E
市来保健センター	80人	3m	F
市来保育所	80人	2m	G
市来真光高等学校体育館	400人	3m	H

市来庁舎周辺



【川上地区】

避難場所	収容人員	海拔	地図番号
川上交差センター	100人	22m	A
川上小学校体育館	300人	13m	B
川上生活改善センター	60人	30m	C
市来川上郵便局	30人	10m	D

福島第一原発

川内原子力発電所からの距離

地震
(止める機能)
地震により制御棒は挿入し自動停止

津波
(冷やす機能)
津波による電源もしくは海水機能の喪失に伴う冷却システムの機能不全

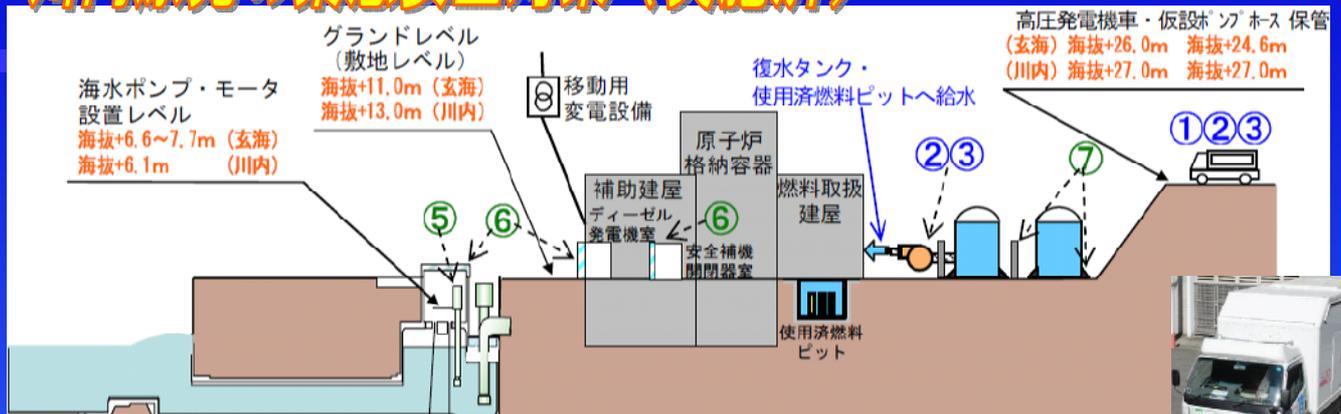
(閉じ込める機能)
原子炉建屋外へ
放射性物質が漏えい

計画的避難区域
緊急時避難準備区域

5km
10km
15km
20km
25km
30km

いちき串木野市

川内原発の緊急安全対策（実施済）



高圧発電機車の配備

- 中央制御室の監視機能維持等のため、高圧発電機車（500kVA）及びケーブルを配備。また、手順書策定及び訓練を実施。

給水源の確保

- タービン動補助給水ポンプによる冷却を継続するため、他の水源より水補給を行う仮設ポンプ及びホースを配備。また、手順書策定及び訓練を実施。

使用済燃料ピットの冷却確保

- 使用済燃料ピットの冷却を行うため、同ピットへ水補給できる仮設ポンプ及びホースを配備。手順書策定及び訓練を実施。

川内原発の緊急安全対策（実施済）

緊急時対応のための機器及び設備の点検

- ▶ 非常用ディーゼル発電機、非常用炉心冷却設備など発電所各設備の点検を実施し、異常がないことを確認。
- ▶ 津波に起因する緊急対応のための機器及び設備*の点検を実施し、異常がないことを確認。

*タービン動補助給水ポンプ、仮設ポンプ、高圧発電機車など

全交流電源喪失時の運転操作手順の充実及び訓練

重要機器エリアの水密性向上対策を実施



川内原発の緊急安全対策（更なる対策）

移動式大容量発電機の配備

- ・全交流電源が喪失した場合の非常用ディーゼル発電機の代替として、移動式大容量発電機をプラント毎に配備。

海水ポンプ等の予備品の確保（海水ポンプ・海水モーター）

- ・予備品として、海水ポンプ及びそのモーターを1台/プラントで確保。

重要機器エリアの防水対策

- ・海水ポンプ、非常用ディーゼル発電機などの安全上重要な機器が設置されているエリアの防水対策を実施。

水源の信頼性向上

- ・津波対策として、補助給水系統及び使用済燃料ピットへの代替水源となる2次系純水タンク等の補強を実施。



いちき串木野市の現状

8

行政改革

人件費の削減

職員、嘱託・臨時職員の削減

市長等特別職給料(7~30%)、職員給料(3~5%)の削減

物件費削減、繰出金抑制

経常的物件費の削減、高利の起債の借り換え

歳入の確保

市税:夜間徴収、日曜窓口設置、差押物件公売等の実施

未利用になっている市有地の売却、貸付

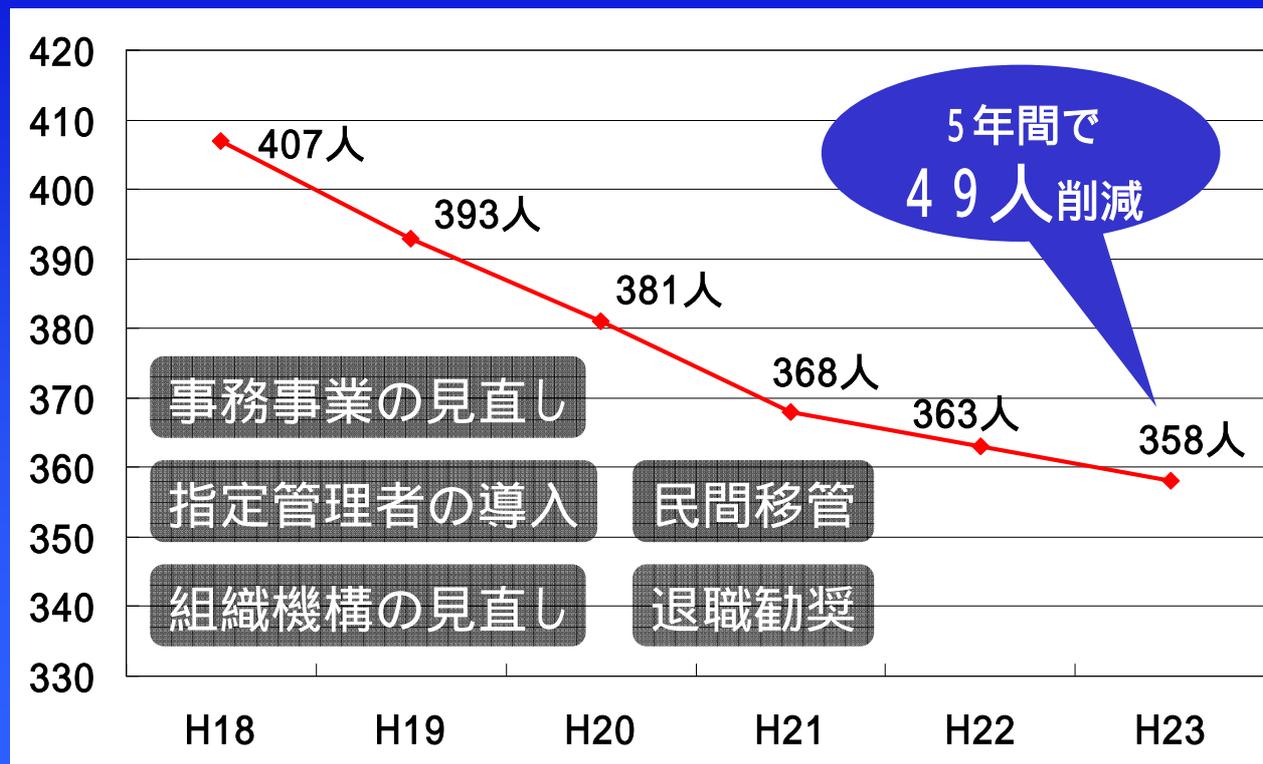
【5年間の行革効果額】

28億1,935万円の効果!!

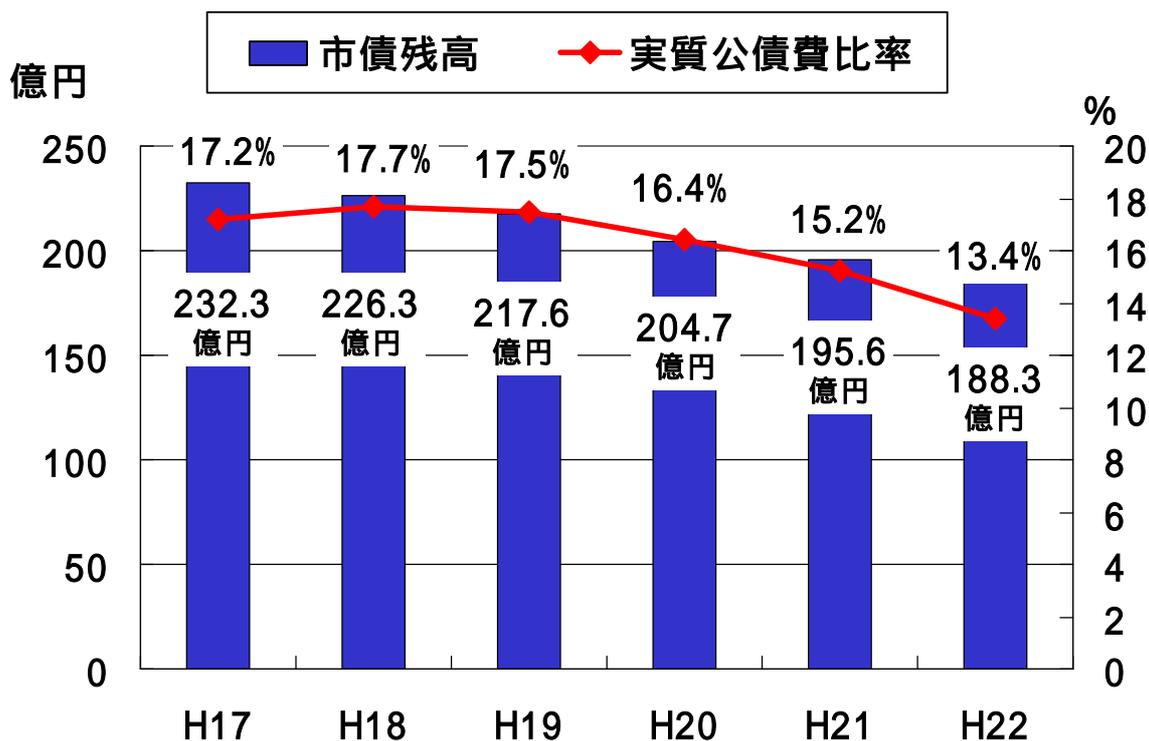
目標額に対し
110.2%達成

9

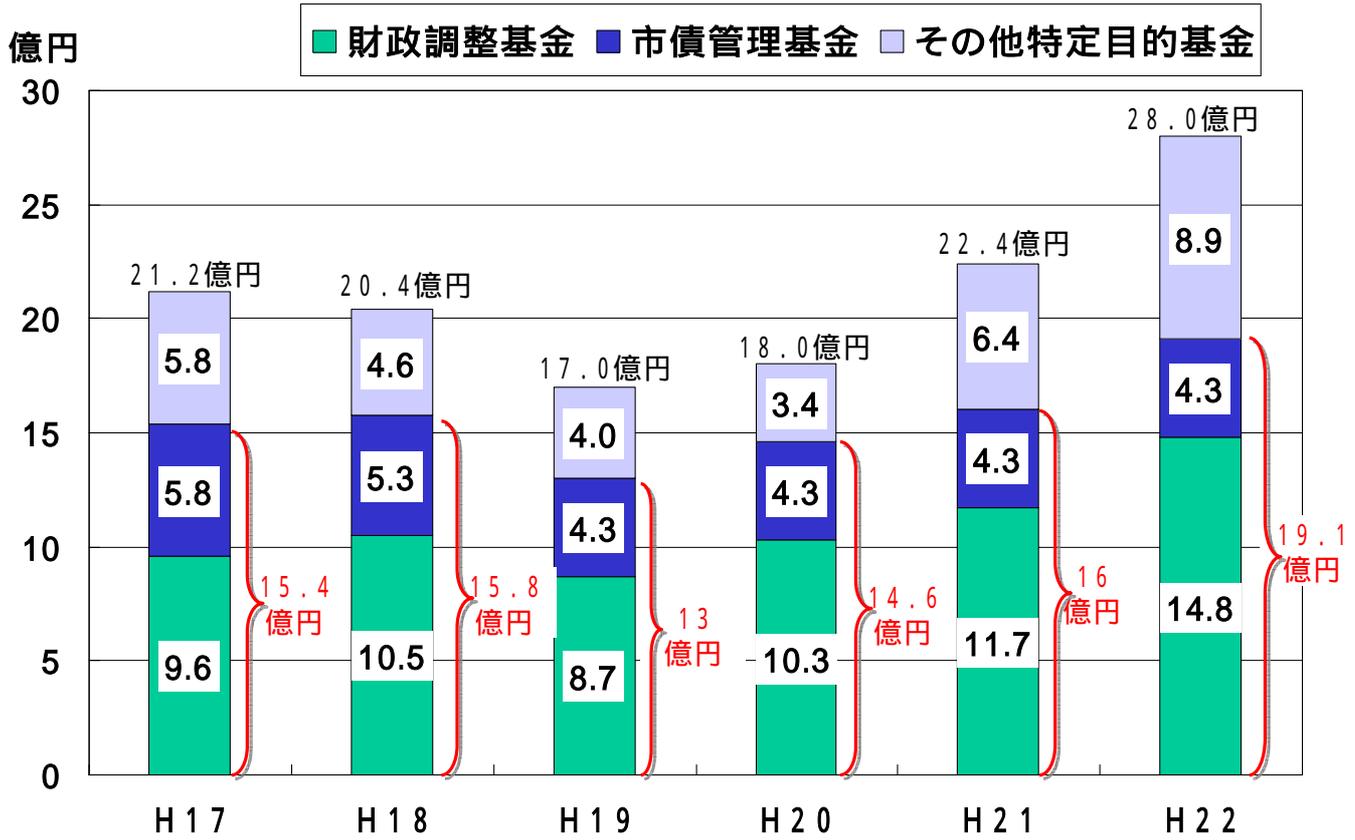
職員数の状況



市債（市の借金）残高の推移



基金（貯金）残高の推移



エネルギーセンター

補助金と起債 約8億5,000万円

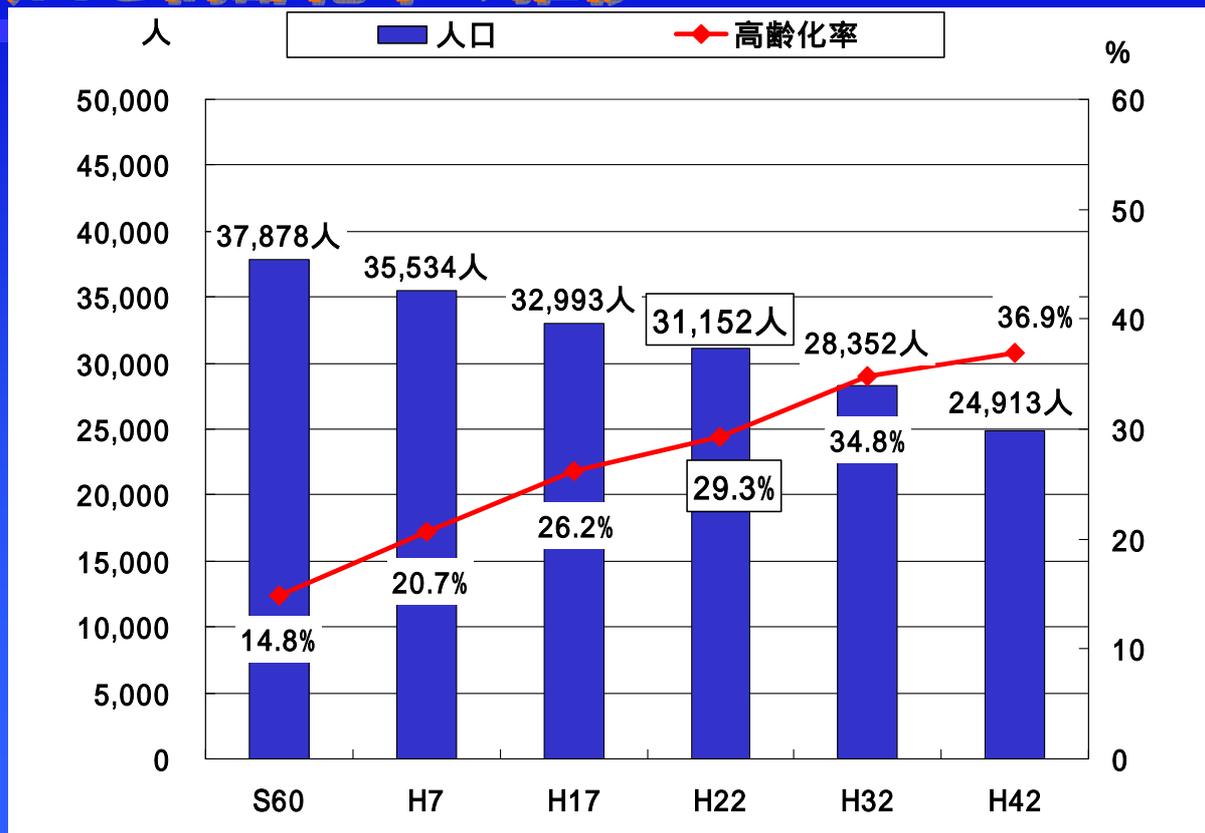
補助金返還 約6,200万円
無利子10年償還

実際の返還額
約7億8,800万円

H23まで 約6億900万円 返還

H24～H30 約1億7,900万円

人口と高齢化率の推移



今後の展望（総合計画）

基本構想（10か年）平成19年度～平成28年度

前期基本計画（5か年）H19～H23

後期基本計画（5か年）H24～H28

実施計画（3か年）

住民と行政とのパートナーシップ^(注1)による
『共生・協働のまちづくり』

健康で文化的な生活を営める
『元気で安心できるまちづくり』

将来都市像（=めざすべき都市像）
『ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち』

世界に羽ばたく力強い産業が展開する
『活力ある産業のまちづくり』

利便性が高く美しいまちを創造する
『快適な環境のまちづくり』

平成23年度予算

一般会計当初予算額

147億7,600万円

前年度比較 9.3%増

重点

健康・福祉、産業振興、交通政策など

積極的予算

16

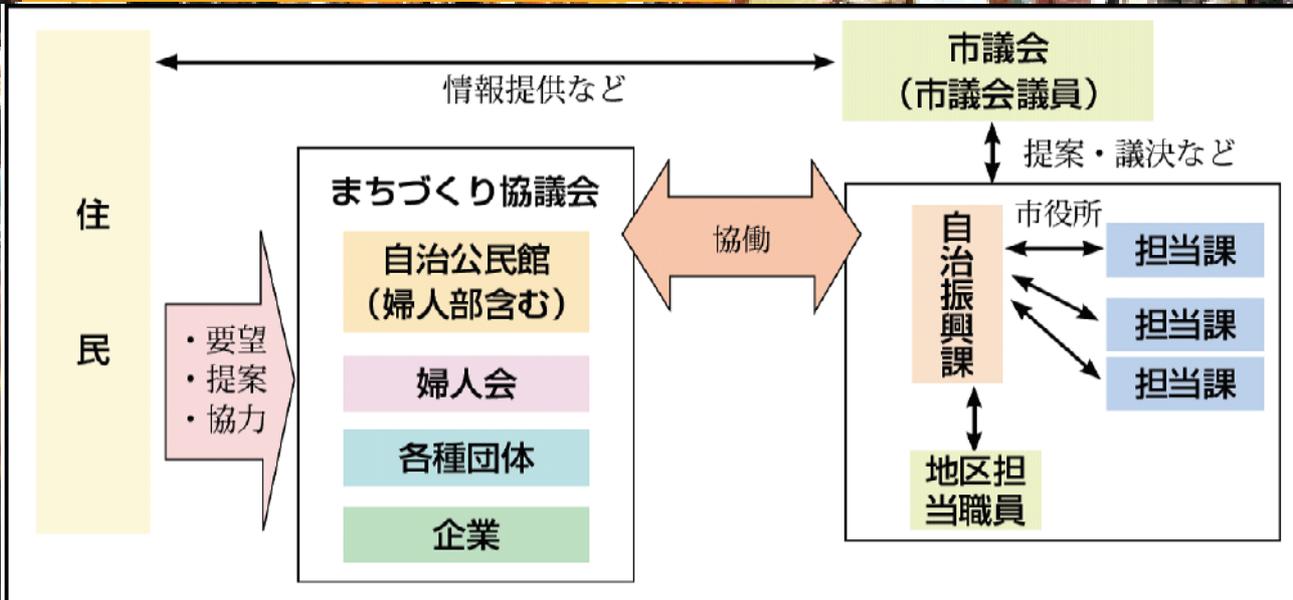
共生・協働のまちづくり

17

どうして協働が必要なの？

- 自治公民館などの活動が困難に
- 行政サービスの継続が困難に

まちづくり協議会のイメージ



★共生・協働のまちづくり推進計画

《人的支援》

- ・地区担当職員制度

《財政的支援》

- ・まちづくり協議会設置、運営補助
- ・雇用嘱託員補助
- ・地区まちづくり計画書策定補助
- ・計画書に基づく事業実施補助
- ・共生・協働提案公募型まちづくり補助

《物的支援》

- ・協議会等への車両・資機材等の貸与

《事業運営に係る情報提供等》

《活動拠点の提供等》

- ・交流センター等公共施設の利用
- ・未整備地区での整備計画の策定
- (計画的な改修整備)
- 荒川交流センター (H22)
- 川南交流センター (H23)



川南交流センター

★自治基本条例（仮称）の策定

元気で安心できる まちづくり

20

安心安全の確保

防災計画の見直し

災害危険予想箇所調査
原子力防災計画
見直し作業



消防施設・設備の充実

水槽付ポンプ自動車
CPRトレーニングシステム
(H22)
高規格救急自動車(H23)



21

安心安全の確保

小中学校の耐震化

区分	学校数	全棟数 A(棟)	耐震性あり B(棟)	要改修 (棟)	耐震化率 B/A%
小学校	9	41	33	8	80.5
中学校	5	24	17	7	70.8
計	14	65	50	15	76.9

小中学校の耐震化・改修

羽島中学校校舎耐震化
市来中学校校舎外壁改修
串木野小管理棟・屋体実施設計
市来中学校技術家庭等実施設計



羽島中学校

母子保健・子育て支援の充実

未来の宝子育て支援事業(H17~)
乳幼児医療費助成の拡充(H22~)
(就学前の子どもの医療費全額助成)
子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌
ワクチン予防接種助成(H23)
不妊治療費助成(H23)
市来地域子育て支援(H23)



定住促進住宅(子育て団地)

- ・18歳以下1人につき家賃減額
- ・集会室における子育て支援
- ・駐車場の整備

《20戸(57人)の市外からの入居》

住環境の充実

定住促進補助制度



最高50万円

+



30万円

(最高90万円)

+



最高100万円

=

最高240万円

町名等整理事業

大字の下名・上名・大里地区
H22～23 下名・上名(一部)
H23～24 上名・大里

【例：旭交流センターの場合】

(大字) (地番)

現在(変更前)いちき串木野市 下名 14103番地 1



(町名) (地番)

新(変更後) いちき串木野市 金山 14103番地 1

24

教育・文化の充実

移動図書館車等購入
教育支援センター設置
(市来地域公民館)
学校給食センター調理室改修
市来中学校屋内運動場改修



「英語のまち」いちき串木野推進事業

- ・中学生英語検定受験料補助
- ・英語指導補助員による補充指導
- ・外国語活動指導補助員の小学校派遣
- ・中学校英語力向上夏季セミナー
- ・英語暗唱・スピーチコンテスト など



25

スポーツの振興

総合運動公園

《整備方針の変更》

テニスコート整備 (H23)

総合体育館基本設計

(H23)

民間活力の導入 (H22)

その他体育施設

《指定管理者による運営》

《計画的な改修整備》

市来体育館改修 (H23)



- ・市民の健康づくり
- ・交流人口の拡大



活力のある
産業のまちづくり

食のまちづくり 「いちき串木野市食のまちづくり基本計画」

市民

●食のまちづくりの理解・推進・実践

- 〈例〉
- ◎地場産食品の活用・消費
 - ◎各種市民講座等への積極的な参加
 - ◎地域としての積極的取組
 - ◎伝統料理の伝承



情報共有

意見聴取

いちき串木野市食のまちづくり推進協議会

- ◎食のまちづくり基本計画の適切な展開
- ◎基本計画の進行管理

事業者

報告

意見

市

●食のまちづくりの理解・推進・実践

- 〈例〉
- ◎地場産食品の生産及び加工販売(地元での販売含む)
 - ◎特産品の開発、販路拡大、安全・安心な食の提供
 - ◎体験ツアー等の実施

情報共有

●食のまちづくりの理解・推進・実践

- 〈例〉
- ◎市民意識の高揚・普及啓発、情報提供、国・県・各自治体・大学等との連携
 - ◎専門部署の体制整備

食のまちづくり

- 親子料理講座開催
- 食のまちPR看板設置
- 食のまち宣言書作成
- 特産品普及事業(食文化情報整理、開発、PR)



食のまちづくり宣言



いちき串木野市食のまちづくり宣言

いちき串木野市は、豊かな自然、歴史と文化、地理的特性に育まれ、先人の優れた技術とたゆみない努力により受け継がれてきた「つけあげ」、「ちりめん」、「まぐろ」、「焼酎」、「ぼんかん」、「サワーポメロ」などの特産品に恵まれるとともに、食に関する特産品の開発やイベントの開催が進んだ「食のまち」です。

私たちは、これを誇りに「食のまち」を更に発展させたいと思います。本市の特色及び資源であり、人が生きていく上で欠くことのできない「食」を広く活用して地域の活性化を図り、市民の健康で豊かな生活の向上を目指してまちづくりを進め、これを内外に発信していきます。

そして、「ひとが舞き 文化の薫る 世界に拓かれたまち」を創造するために、市・市民・事業者すべてが、次のことに主体的に取り組み、「いちき串木野市食のまちづくり」を進めていくことを、ここに宣言します。

1. 食材・食品を磨き育て、地産地消を進め、産業の振興に取り組みます。
1. 食育を進め、健全な食生活を実践し、健康の増進に取り組みます。
1. 郷土食や食に関する作法を学び、食文化の継承に取り組みます。
1. 食の魅力を活用し、もてなしの心により、観光・交流に取り組みます。
1. 豊かな食料を育む海・山・川・里の良好な自然の保全に取り組みます。
1. みんなで安全で安心な食づくり提供に取り組みます。

平成22年10月11日

鹿児島県いちき串木野市



みんなで取り組みましょう!! 「食のまち いちき串木野」

観光の振興

グリーンツーリズム推進



▲兵庫県上郡町立上郡中学校の生徒たちの体験風景

総合観光推進事業

- ・体験型観光メニュー
など受入体制の確立
- ・案内人(語り部)の
組織づくり
- ・観光用ホームページ



ボランティアガイド



旬の味、まちの味、人の味

いちき串木野 総合観光ガイド

薩摩藩英国留学生記念館(仮称)

平成27年には渡欧150周年

- ・資料収集事業(H21~)
- ・基本構想・基本計画策定(H22)
- ・展示・建築基本設計(H23)



産業の振興

遠洋まぐろ船AED設置
島平漁協魚食普及施設
焼酎麴用米の生産促進助成
川南地区ほ場整備事業
(換地計画概要書作成)
野菜栽培被覆施設・暖房設備補助



企業誘致の推進

「鹿児島電子株式会社」
(光通信用部品製造)

従業員数:約30名

投資予定額:約3億円



「西薩中核工業団地」

分譲率:67%

積極的な情報収集

レアメタル国家備蓄
基地の誘致

32

快適な環境のまちづくり

33

麓土地区画整理事業(～H29)

市道改良事業

下塩入線・払山線・松比良線・
別府上名線(架道橋基本設計)

海瀬坂下線(橋梁予備設計)

新公共交通システム

(乗合タクシーを含めた新システムの
導入を図る)



後期基本計画

「市民アンケート調査」のお願い

《調査対象地区及び調査時期》

市内全域 8月12日(金)まで

《対象者》

無作為に抽出した市民2,600人

(16歳以上)